



いいで町

179号

議会だより



自分たちで考え、片付けまで児童がおこなった手ノ子小学校運動会

9月定例議会

9月定例会	P 2～3
決算報告	P 4～5
一般質問	P 8～11
決算特別委員会（総務文教・産業厚生）	P 12～15
コロナウィルス関連	P 16～17
各常任委員会	P 18～19

ウイルス対策第4弾を可決

9月定例会

概要

令和2年第7回9月定例会は、9月8日から18日までの11日間開催され、4人の議員が一般質問を行いました。

財政問題や観光振興計画、専門職大学貸工場整備などを町政に問いました。

令和2年度各会計補正予算、条例の設定、決算認定及びその他の案件を審査し、全て原案のとおり可決、認定しました。

令和元年度一般会計、特別会計決算及び事業会計決算の14案件は決算特別委員会を設置し、付託審査しました。

主な歳入

● 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
2億3652万円

● 公共土木施設災害復旧事業費補助金
4336万円

● 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費補助金
3637万円

● 公共土木災害復旧事業（町債）
2160万円

● 新型コロナウイルス感染症対応職員慰労給付金
450万円

● 中山間地農業ルネッサンス推進事業
287万円

主な歳出

● 生活支援給付金事業
7000万円

● 観光広告宣伝事業
554万円

● 中津川応援補助金
（中津川橋通行止めにより影響のある宿泊施設・飲食・小売店等にクーポン券の支援）
240万円

● 肉用牛経営安定緊急対策事業
690万円

● 米沢牛価格下落対策事業
3670万円

● 畜産・酪農収益力強化整備事業
950万円

● プレミアム付商品券発行事業
6500万円

● 道路橋梁補助災害復旧事業

一般会計補正予算は、総額に歳入歳出それぞれ1億5694万円を追加し、78億5350万円になりました。



補正予算で新型コロナ

条例の設定

◆飯豊町貸工場設置条例の設定

産業振興及び雇用創出を図るために整備した貸工場の設置と使用等について定めるもの。

公有財産の取得

小型動力ポンプ付積載車更新にあたり、軽四輪小型ポンプ付積載車を取得するもの。

- 取得する財産
 - 軽四輪小型動力ポンプ付積載車 2台
 - 購入価格 1209万円
- 購入先
 - 株式会社社長谷川ポンプ製作所
 - 納入期限 令和3年3月15日
- 設置場所
 - 第一分団
 - 第四分団

工事請負契約の一部変更

◆飯豊町新産業集積事業貸工場の請負契約の一部を変更

契約金額2億3491万円を2億4273万円に変更するものです。
設計の一部変更（防鳥対策）して実施するためです。

発議

◆飯豊町議会基本条例の一部改正する条例の制定

◆飯豊町議会会議規則の一部改正する規則の制定

◆新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源確保を求める意見書の提出

人事

次の人事案件に同意しました。

◆教育委員会委員
飯豊町大字添川
井上 俊幸



令和3～4年に創業される貸工場

特別会計補正

(単位：万円)

会計名		補正額	歳出の主なもの
国民健康保険	事業勘定	1840	コロナ感染症対策交付金
	直営診療	638	一般管理費
介護保険		2002	準備基金積立
介護老人保健施設		1080	施設運営費
下水道		396	施設管理費

決算を認定

令和元年度一般会計、特別各会計及び事業会計を合わせた14会計はすべて全会一致で認定しました。

本町の令和元年度末町債残高は、125億5793万円で住民1人当りにすると約181万円となり、利子と共に毎年返済して行かなければなりません。(決算審査意見書より)

また、構成比は、地方交付税と町債で歳入全体の53.7%を占め、自主財源の少ない本町財政の改善をはかることが、喫緊の課題です。

次年度以降、十分考慮し執行する必要があると感じます。

令和元年度 主な事業

(単位 万円)

・畜産生産拠点整備事業	1億1334	・労働者支援事業	1554
・新産業集積事業	2億9823	・住宅リフォーム支援事業	1484
・中学校大規模改修事業	3億4301	・地区まちづくりセンター事業	1090
・園芸作物産地化推進支援事業	1688	・道路維持事業(除雪費含)	3億4624
・農地等災害復旧事業	1230		



完成した畜産拠点整備事業に建てられた畜舎

財政収支の状況

(単位 万円)

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳入総額	76億6220	67億6010	74億2088	74億6290
歳出総額	72億2268	64億2713	71億3803	69億4770
基金積立金	269	158	126	24
基金取り崩し額	2億1000	3億0000	3億4000	4億7800

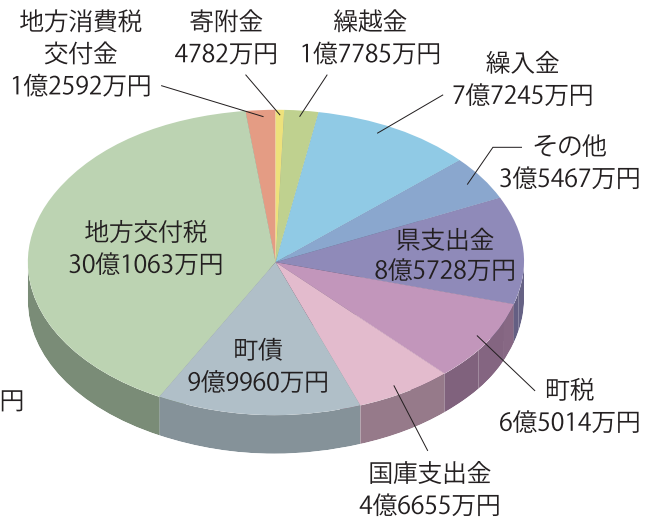
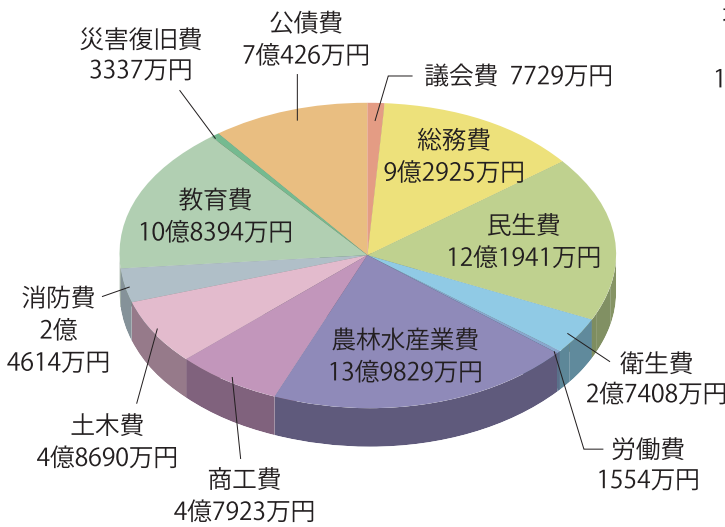
令和元年度

各会計

一般会計決算

歳出 69億4770万円

歳入 74億6291万円



各特別会計決算

(単位 万円)

会計		歳入	歳出
国民健康保険	事業勘定	7億3065	7億579
	直診勘定	8313	8298
介護保険		10億4969	10億2973
後期高齢者医療		8498	8470
下水道事業		4271	4258
訪問看護		1327	1321
介護老人保健施設		2億7614	2億7599
物品調達		1709	1709
5財産区		1441	1376
水道事業	収益的	2億3853	1億9121
	資本的	4373	8950

各基金残高

(単位 万円)

基金の名称	本年度末残高
財政調整基金	4億4308
減債基金	2億7940
地域福祉基金	1億6838
公共施設整備基金	4億2858
地域振興基金	5844
いいでめざみの里応援寄附基金	2035
スポーツ振興基金	4389
交通遺児等支援基金	501
国民健康保険給付基金	1億391
介護保険介護給付準備基金	1億1014
畜産振興基金	5525
奨学資金貸与基金	6446
土地開発基金	1億7158
財産区基金(4財産区)	8300
森林環境譲与税基金	301
総合計	20億3848

連合審査会（現地踏査）

エコタウン構・貸工場・災害現場を
この目で視る！

連合審査会

7月15日と8月4日に総務文教・産業厚生
の常任委員会合同による
連合審査会（現地踏
査）が行われました。
それぞれの現場で担
当所管課から説明を受
けその後、委員からの
質問に対し答弁があり
ました。

エコタウン構モデル
住宅及び新産業集積
事業貸工場を踏査
（企画課・商工観光課）

後藤委員 エコタウン
構の完売の期間、今後
の目標、見通しは。
企画課長 中の目団地
・中の目南団地は3
5年で完売したので同
等にさせてもらいたい
と考えている。新型コ
ロナの影響で、契約の
動きが遅い状況。

遠藤(芳)委員 貸工場
の稼働までのスケジュ
ールは。

商工観光課長 9月上
旬に完成し、消防・建
築主事の検査などを9
月下旬まで実施する予
定。その後、借主のセ
パレーターデザインがラ
イン、プラントなどの
設備を入れて試運転が
あり、令和3年度中の
稼働を目標として進ん
でいる。

7月の豪雨による
災害現場を踏査

◆農林振興課
・林道関係 14路線、
23箇所被災し、主
な被害は路肩欠損や
土砂崩壊、路面洗掘
・農業施設 8箇所
被災
・添川財産区 土砂崩
壊や倒木で2箇所
◆地域整備課
・18箇所被災

高橋(勝)委員 土地改
良区と調査した被害状
況は。

農林振興課長 今年度
の事業について、土地
改良区に聞き取りしな
がら事業を進めていき、
できるだけ進捗が高ま
るように土地改良区に
要望していく。

川崎委員 天狗山線に
数か所の路肩欠損があ
るが、今後の対応は。

農林振興課長 地元と
観光協会から早期の復
旧を要望されていたの
で、車が通行できるよ
う対応した。



7月豪雨災害による斜面崩落現場（中津川小屋地区）

第6回臨時会

8月18日に第6回臨
時会が開催され、専決
処分について承認を求
める件を3件、及び一
般会計補正予算を審議
し、いずれも全員賛成
で可決されました。
なお、審議された内
容は以下の通りです。

〈専決処分〉

- ◆交通事故に係る損害賠償の額の決定
- ◆住民訴訟による違法確認請求事件に係る弁護士委託料
- ◆令和2年7月豪雨による災害査定に係る測量設計業務委託料の追加

〈補正予算〉

- ◆令和2年7月豪雨に伴う復旧に係る業務委託料及び工事請負費の追加（農業施設・林道施設・町道施設）

公開します！議員の賛否！

令和2年度9月定例会で審議した主な議案とその結果

上程された議案・概要	賛成	反対
条 例 設 置		
飯豊町貸工場設置条例の設定について ◎主な内容 (位 置) 飯豊町大字添川3514番地29 (事 業) 電池関連産業を集積するための企業活動に係る事業 (使用料) 1年間 3,400万円 ◎動議 (遠藤芳昭議員) 「20年間の使用を前提として使用料が設定されているが、条例には使用期間に関する条文はなく、20年間の使用が約束されておらず不安が拭えない」として、委員会へ付託し協議後の再提出を求める。 動議採決 賛成2 (遠藤芳昭議員・高橋勝議員) : 反対7 ⇒動議否決で条例採決へ ◎条例採決 賛成7 : 反対2 (遠藤芳昭議員・高橋勝議員)	7	2
決 算		
令和元年度飯豊町一般会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
令和元年度飯豊町国民健康保険特別会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
令和元年度飯豊町後期高齢者医療特別会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
令和元年度飯豊町介護保険特別会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
令和元年度飯豊町訪問看護特別会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
令和元年度飯豊町介護老人保健施設特別会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
令和元年度飯豊町物品調達特別会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
令和元年度飯豊町下水道事業特別会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
令和元年度飯豊町菟生財産区特別会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
令和元年度飯豊町豊原財産区特別会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
令和元年度飯豊町添川財産区特別会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
令和元年度飯豊町豊川財産区特別会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
令和元年度飯豊町中津川財産区特別会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
令和元年度飯豊町水道事業会計決算認定 (決算特別委員長 報告・採決)	9	0
人 事		
飯豊町教育委員会委員の任命について同意を求める件	9	0
意 見 書		
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、地方税財源の確保を求める意見書の提出について (総務文教常任委員長 報告・採決)	9	0
予 算		
令和2年度飯豊町一般会計補正予算 (第8号)	9	0
令和2年度飯豊町一般会計補正予算 (第9号)	9	0
公有財産の取得について (令和2年度飯豊町軽四輪小型動力ポンプ付き積載車購入事業)	9	0
工事請負契約の一部変更について (平成30年度新産業集積事業貸工場新築工事 (債務負担行為))	9	0

◎動議 (どうぎ) とは、会議の遂行や手続きに関して議員 (委員) が議会 (委員会) に対して行う提議

◎議長は採決に不参加

一般質問

異常気象・新型コロナ危機から 飯豊の未来を考える



高橋 勝 議員

気候非常事態宣言の具体的な取組みについて

質問 以下の項目をどのように進めるのか。

- ①本町に適したバイオマス資源・家畜排せつ物・木質の活用
- ②エネルギーを使用する場所で発電・利用する分散型エネルギーの普及
- ③森林の適切な管理

広報等を通じて周知を行いながら取り組み推進

町長 ①飯豊町バイオマス産業都市構想に基づき、民間事業者による「ながめやまバイオガス発電所」が6月に

完成。あわせて令和3年度中にしらさぎ荘において木質チップポイラーを設置する方向で現在準備中です。

②飯豊型エコハウスや太陽光発電システム等を導入することで、分散型エネルギーを推進します。具体的には、県が実施するエネルギー地産地消モデル推進事業において、昨年度からモデル地区として選定されていますので積極的に活用していただきたい。

③森林整備を行うにあたり現在の森林簿では不明瞭な箇所が多いことから、森林環境譲与税を財源とし林地測量を行います。

新型コロナと飯豊の将来について

質問 町内の情報通信網を活用し、全世帯に

端末の支給を提案。買物代行、福祉医療分野など各種サービスの提供が端末で済むような生活様式が考えられます。そこで現在の情報通信網の整備状況と今後の活用方法は。

策定中の総合計画で目指すべき姿を議論

町長 現在の町内居住

地域については、パソコンやスマートフォン等の移动通信システムは利用可能です。また今後については、5次総合計画策定中でもありますのでしっかりと議論していきます。



森林資源の利活用でエネルギーの地産地消を

専門職大学の教職員や学生、貸工場の従業員の住環境整備について

質問 住居の決定は各個人にあります。しかし住民票を町内に移したくなるような政策誘導をし、「地域経済の好循環の実現」と「町民税などの税收増加」に繋げては。

民間活力の活用で住環境整備を進めたい

町長 中小企業振興事業補助金等で支援を想定しています。また今年度末期限の、「飯豊町ふるさと定住いいですね条例」をより移住定住に繋がる内容に見直し、来年3月の議会に提案します。

(本人執筆)

一般質問

第5次総合計画の進捗状況と 新たな観光振興計画は



遠藤 芳昭 議員

町第5次総合計画の 進捗と財政について

質問 昨年の9月議会

において私の質問に対し町長は「次代を担う若者にとって魅力的な町づくりのため、町民の声を盛り込んだ計画づくりを行う。」と答弁された。策定作業の進捗状況と財政計画も含めてどのようにすすんでいるか。

人口減少に対応したま ちづくり努力したい

町長 町の最重要課題は人口減少です。本町では、人口5千人を確保するための施策に取り組んでいます。人口減少社会に対応したま

ちづくりのため、財政健全化、行政組織のあり方、行政事務の見直し等を行います。

新たな 観光振興計画は

質問 町長は6月議会

において「民間活力を生み出すため観光協会の指導力を活かし、新たな計画」づくりを行うとのことだが、観光振興には町民の活躍が最も大切ではないか。

町観光協会等多様な主 体と連携し策定したい

町長 町観光協会では新たな観光戦略会議を立ち上げており、町民の大きな力に期待しています。

中津川地区の 観光振興策は

再質問 町観光に大き

な役割を果たしている中津川地域について、どのような検討会議をすすめているのか。町の課題は白川荘建替ではなく、地域をどう支えるかではないか。

中津川と白川荘の 目指すべき姿を検討する

町長 現在、中津川地域における観光のあり方について「白川荘に求められる機能」や「その目指すべき姿」を検討しています。

中津川全体を「地域商 社化」の取組みを提案

再質問 地域の特性を活かした事業を行うため、第三セクター等を含めて「地域商社化」を考えてはどうか。

商社化に取り組んだ経 過がある。再考したい

町長 数年前、6次産

業化事業の中で地域商社化的な取り組みを行ない、その時に、「雪室ブランド」などが生まれました。

今後はそのような取り組みも必要かと思うので、中津川の地域づくりの中で考えていきたいと思っています。

逆質問

若い人の意見を反映 した総合計画とは

町長 遠藤(芳)議員が考える若い人が魅力あるまちづくりのために、どのようなことが必要と考えているか。

遠藤(芳) 若い人が住んで(戻って)くれるような魅力があるか問われている。若者が住みたくなるような、子育て施設、スポーツ施設、文化施設が必要である。「学校教育」と同じように、「ふる里教育」に対し、力を入れるべきである。

※逆質問とは

町議会会議規則では、町長等は、一般質問や委員会等で、議論を深めるため、質問した議員に対し、逆に質問することがあります。

(本人執筆)



地域と行政等が一体で

一般質問

窓口業務改革による住民サービス向上と住民の命を守る施策を



屋嶋 雅一 議員

各地区まちづくりセンターで証明書の発行を

質問 高齢者の方を考えたとき、また利便性から、住民票や印鑑証明書などの発行手続きを各地区のまちづくりセンターでできないか。

課題が多く現状の体制では困難

町長 通信環境や機器の整備、個人情報管理など解決すべき課題も多く、現状の体制では困難な状況ですが、新たに健康福祉課の窓口で住民票と印鑑証明書を発行できるようにしました。その利用状況を確認しながら、

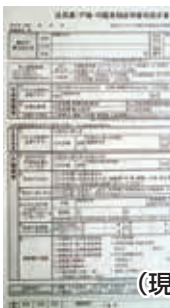
今後の対応を検討してまいります。

再質問 中津川地区など離れた地区からの来庁を考えれば、まちづくりセンターで交付が

できないか。



(現行)



住民票や印鑑証明書等の申請書

できたら、どれだけ住民サービスになるか。委任制での交付からでも、段階的に実現できないか検討を。また、現在の証明書の交付申請書を見やすく書きやすいものに変更した方がいいと思うが。

(参考案提出)

まずは町民の顔が見え、町民と会話できる窓口業務に

総務課長 以前は中津川地区でメロデーバスの活用で住民票など委任によるサービスを実施した経緯があります。ただ、今は町民と顔を合わせ、町民と会話するなど、町民と交流できる窓口業務に努めています。しかし、IT化が進む中で、今後総合的に検討を進める必要があると思います。

窓口業務の民間委託を

質問 住民サービスの向上と業務の効率化、経費の削減を目的に、民間委託する自治体が増えている。本町でも窓口業務を民間委託する考えはないか。また、コンビニで証明書の交付をできないか。

町長 窓口業務の民間委託は、人口規模の小さい当町にあつては、申請件数も少なく効果が出にくい実態にあります。しかし、住民サービスの向上、業務の効率化、経費の削減から、導入の可能性について検討してまいります。また、コンビニでの交付は、現在の財政では導入は難しいですが、今後町外からの

コンビニでの交付導入は慎重に検討

移住や雇用の増加を考えた場合、慎重に新たな導入検討が必要になると思います。

【いのちのバトン】の登録の推進は

質問 【いのちのバトン】は、高齢者の命を守るためには、大変大切なことと思うが、登録者の現状と登録者を増やすための推進は。

現在291名の登録

町長 令和2年4月現在の対象者812名のうち291名の登録です。加入率は35・8%です。【いのちのバトン】事業は、救急時自分の命を守るための一助として有用であり、機会があるごとに住民の皆様にご周知を図りながら、利用登録を進めてまいります。(本人執筆)

一般質問

持続可能ないいでの健康増進と人口増対策を!!



遠藤 忠議員

コロナ禍の影響での不利用額は

質問 コロナ禍の影響で令和2年度のイベント行事が中止になりました。不利用額は。

新型コロナウイルス感染症対策に充当

町長 今般のコロナ禍の影響で予定していた様々なイベント・事業を中止、延期せざるを得ない状況下です。めざみの里まつり510万円、全国白川ダム湖畔マラソン226万円、めざみの里カンタート142万円、町民スポーツフェスティバル150万円などです。

しらさぎ荘にSDGs健康クラブの会員組織を

質問 しらさぎ荘改修

当時年間20万人の利用者が、人口減少により年間13万人の利用者で、各施設を分散利用しています。公社の経営立て直しが重要では。

しらさぎ荘にフィットネスジムと温泉入浴券をバックにした、仮称「SDGs健康クラブの会員組織」を提案します。

経営的に固定の会員組織が経営の安定化につながります。

しらさぎ荘の温泉とコラボしたフィットネスジムは、置賜では最初の取り組みで、町民

の健康増進とお得感が大切です。人生100年時代に対応した取り組みは。

本町では年間4億6千万円が高齢者福祉予算に充当されています。家族会員で月額1万の利用料金で、ジムと温泉が毎日利用出来、家でお風呂に入るよりお得な料金設定と朝6時から最終22時までの営業が重要です。

置賜3市5町で5千家族。売上6億円でのプランニングは。

大きなビジネスチャンスになり得る可能性

町長 金融機関の指導を仰ぎながら経営の健全化に向けた検討がなされています。

経営の安定化を図るためには、採算性の高い事業へシフトしていく必要があります、置賜管

町の人口増対策は土地分譲の無料化を

内には13のフィットネス、スポーツジムが営業をしているものの、他の施設では温泉がないため、大きなビジネスチャンスになりうる可能性はあります。適正な設備規模と運営体制の検討が重要と考えています。

質問 本町の人口は7

月末で、6,875人で65歳以上は約2,600人、将来は4,500人を切る現状です。

総務省の2019年の統計では若者女性山形県内定着率は全国47位、本町での11年間の減少率は63・3%です。

役場職員の新規採用は定住が条件としては、現在分譲している

住宅団地、添川住宅団地を限りなく無償提供は。

2060年5035人
目標・創生総合戦略

町長 飯豊町人口ビジョンでは、2040年は5,722人、2060年では5,035人の目標です。

役場の新規採用職員の町内定住は難しいと判断しています。

住宅団地の無償譲渡は慎重な議論が必要であると考えています。

SDGs今後の取り組みは

質問 山形県、山形大学、山形新聞が県民運動宣言しました。本町の更なる取り組みは。

東北SDGs未来都市サミット来年開催

町長 持続可能な本町をめざし、歴史資料館・図書館の検討も。

(本人執筆)

災ラジオの活用は

総務文教 所管分



決算特別委員長

高橋 亨 一

令和元年度一般会計、各特別会計及び水道事業会計合わせ
て14件について、決算特別委員会を設置し審査しました。
決算特別委員長に高橋亨一委員を、副委員長に遠藤忠委員
を選出し、9月15・16日の2日間にわたり、慎重な審査を行
い、いずれも全員一致で認定すべきものとなりました。

一 般 会 計

町外への委託保育は

川崎委員 委託保育料
として、800万円ほ
ど支出されているが、
なぜ町外への委託保育
となったのか、保護者
の聞き取りは。
教育総務課長 保護者、
特に母親の勤務先がほ
かの市町である場合に
送迎や緊急時を考えると、勤務先に近い方が

よいとの希望があり、
そのように対応してい
ます。

専門的なシステム エンジニアの雇用は

遠藤(忠)委員 システ
ム改修や新たなシステ
ム導入など年々専門的
知識が必要となってい
る。今後のIT関連事
業やGIGAスクール
構想などのスムーズな

実現の為に専門的な
システムエンジニアの
雇用が必要となるので
は。

企画課長 平成7年以

降の行財政改革により
IT化が進められ、多
くの業務でシステム化
されています。専門的
なエンジニアを採用し
ても、人材育成は困難
と思われる。

お見合いの件数は

舟山委員 結婚支援事
業で13件の結婚お祝い
金を支出しているが、
お見合いの件数につい
ては。

企画課長 お見合いを

直接創出する事はして
いません。結婚したい
若者の意識確認、将来
像や服装など自分みが
きを行う講習会や、未
婚の子を持つ親世代の
セミナーなどを開催し
ています。



進むIT化

決算特別 委員会

災害時に有効な防

屋敷林などの 景観条例は

古山委員 散居集落で屋敷林が住民にとって重荷になっているとの声があるが、景観条例の制定は。

企画課長 景観条例を作るにあたり、屋敷林を残す強制的な条例はできません。飯豊の景観をどの様に考えるのかを一つの指針として景観計画があり、事業者、行政が一緒に考え共に活動できる条例の制定を考えています。

災害緊急放送は

屋嶋委員 無線放送聴取支援事業の災害時放送事業の内訳は。

総務課長 FM放送のおらんだラジオにおける、緊急割込み放送装置の設置管理として月

額2万円、割込費として一回3000円要します。昨年は9回の割込みを行い、役場からも割込みはできます。

木質バイオマス エネルギーの事業化は

高橋勝委員 木質バイオマスエネルギー事業化調査事業委託費の調査結果と今後の対応は。

企画課長 平成30年度制定されたバイオマス利活用推進計画では、各課題を整理してCO₂削減効果と地域にもたらす経済効果を計画に示しながら設備導入計画をまとめました。その結果、しらさぎ荘に木質チップボイラーの設備導入を考えています。

光ファイバーの 共架柱は

後藤委員 光ファイバー不採算地域については町で敷設してNTTに貸しているが採算地域との分岐はどこか。また、共架柱については。

企画課長 平成20年町内における情報格差の解消を目指し町内全域に光ファイバーを敷設しました。分岐点は手ノ子基地局になります。共架柱はNTTが750本、電力柱450本に光ファイバーを共架しています。経年劣化により年間5ないし6本の交換をしています。

特別 会計

国民健康保険について

川崎委員 平等割、所得割、資産割、均等割の四方式を採っている。元年度の資産割は13.9%になっているが今後の見通しは。

住民課長 資産割について減額し、他は課税としました。令和3年度まで引き続き課税措置をし、令和4年度に資産割を0とした分配で再計算し提案します。



美しい屋敷林

DMO事業進まず

産業厚生 所管分

(※DMO：地域と協同して観光地域作りを行う法人)

一般会計

**電池バレー人材育成
の成果は**

川崎委員 飯豊電池バレー人材育成事業に、4587万5千円を歳入されているが、具体的な成果は。
商工観光課長 人材育成システムの構築や、専門職大学に係る学生や企業の意識調査などのソフト事業委託に387万5千円。専門職大学整備補助金のハード事業に4200万円を大学の開学に向けた事業に展開しています。

**情報発信と若者交流
の成果は**

屋嶋委員 飯豊電池研究所へ情報発信と若者交流事業として委託が約650万円歳出されているが、その成果は。

商工観光課長 スロー

ビレッジのコワーキングスペースを活用したイベントやプランづくり、ワイングラスで楽しむ日本酒五蔵会in飯豊や若者向け山菜の商品開発と試食会などで、毎年1000名を超える方が来町しています。



建設中の専門職大学

**中山間ルネッサンス
事業の内容は**

舟山委員 中山間地農業ルネッサンス推進事業の内容は。
商工観光課長 農山村の活性化事業で、山菜の加工など商品開発や展示などを行なっている事業です。

**二酸化炭素抑制事業
の成果は**

高橋(勝)委員 二酸化炭素排出抑制対策事業の委託料583万円の調査内容と結果は。また、その結果を今後の町政運営にどう反映させていくのか。

農業振興室長 バイオガス発電で発生する液肥の環境調査と、眺め山牧草地に実際に散布し、実証していく考えです。

今後の町政運営とし

では、バイオガスパロジェクトを大切な事業として、持続可能性をより高め、CO₂削減に繋げて行きます。

修繕は一括発注で

遠藤(忠)委員 決算審査意見書で、小規模で類似している修繕の工事は、なるべく一括で

契約するようにと指摘されているが、町としての考えは。

農林振興課長

修繕の要因によつて、予算を執行していません。しかし最近、豪雨災害によつてその都度の修繕による発注が増えている現状で、今後まとめて発注

できるものは事務の軽減を図りながら、効率的な業務の運営に取り組みでいきたいと考えています。

地域整備課長 業務の

中で、一括発注できるものがないか検討し、可能なものから取り組んでいきたいと思えます。



完成したバイオガスプロジェクト事業

令和元年度 決算特別 委員会

新型コロナにより



純情商店通りのアンテナショップ

アンテナショップの
効果は

古山委員 アンテナショップには、今まである程度の予算を付けてきたが、現在町にどのくらいの効果をもたらしているのかなど調査しているのか。
産業連携室長 現在は飯豊町の産品を販売し、売上も伸びてきています。また町のPRにも繋がっています。
調査はしていませんが、町の知名度は確実に

上がっていると捉えています。

DMOの事業内容は

後藤委員 地域連携DMO構築事業負担金約721万円だが、事業内容は。
観光交流室長 2市2町の観光誘客事業の展開による企画、運営を行っております。
昨年度の後半は、新型コロナウイルスにより観光事業が進まなかったという状況でした。

特別会計

介護老人施設の
未収金は

川崎委員 介護老人保健施設特別会計の入所負担金で、約115万円の未収金があるが、内容と今後の対応は。
介護老人保健施設事務長 入所費の平成20年度から平成26年度にかけて、3名の方の未収金となります。

水道の有収率は

舟山委員 水道事業会計で、上水道の有収率が77.7%、簡易水道では49.1%と無駄があるように思うが、現状をどう考えているか。



介護老人保健施設 美の里

下水道の未収金は

地域整備課長 県内の統計状況では、上水道の場合29事業所中、当町の有収率は下から7番目です。今後も、有収率のさらなる向上にむけて取り組んでいきます。

古山委員 下水道事業特別会計で、未収金が約232万円あるが、内容と今後の対応は。
地域整備課長 分担金約55万円、使用料が約177万円の未収金となります。

未納が続いている方には、分割納付として納付いただくように、日々連絡しています。



町独自支援内容一覧(第4弾) 可決

コロナウイルスによって影響する企業・団体・個人へ

「新型コロナウイルス」の感染防止のための自粛協力要請等によって、特に観光関連産業に多大な影響が出ており、「新型コロナウイルス対策にかかる独自支援策」を実施しましたが、9月議会で新たな支援第4弾を可決しました。その内容について一部ご紹介いたします。

NO.	区分	概要	予算関連
1	経済活性化	【町民全体への支援】 町民1人当たり1万円を現金により支給する。	予算 7,000万円
		【町内消費喚起商店等経済支援】 既設プレミアム商品券発行事業において、プレミアム率を20%から40%に拡充、6000セットから7500セットとし、消費喚起の経済対策を行う。	予算 950万円
2	経済活性化	【住宅関連産業支援】 既設の住宅リフォーム支援事業の対象とならない小規模な工事を支援(補助率15%)する。	予算 300万円
3	生活支援	【飯豊町新生児特別定額給付金】 令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれる新生児児童に対し10万円を給付する。(40人分)	予算 400万円
4	経済活性化	【6次産業化推進支援事業】 新型コロナウイルスの影響に伴う休業や業績悪化を受けた事業継続や拡大を図る農業者が実施する6次産業化にかかる経費を補助する。	予算 180万円
5	経済活性化	【米沢牛価格下落等対策事業】 4月から8月に市場に出荷した肥育農家に対して生産費の一部を補助する。	予算 690万円 1頭当たり 15,000円
6	中小企業支援	【中小企業パンフレット作成】 Withコロナの時代に向け町内企業紹介のパンフレットを作成し、I・Uターンを促がす。中学校の総合学習や成人式等でも活用する。	予算 174万円
7	福祉支援	【ディサービス受入自粛に対する支援】 新型コロナウイルス感染防止のためのサービス自粛した町内民間介護事業所に対し4/8～4/20の間の自粛協力に対する減収分を支援する。	予算 325万円 (国持続化給付金対象外の2事業所)
8	災害対策	【避難所における新型コロナウイルス対策】 大型扇風機40台 パーテーション10基 ブルーシート購入	予算 170万円
9	生活支援	【生活困窮者等『食』の支援事業】 新型コロナウイルスの影響に伴い、休業・失業し、生活福祉資金の貸付を受けた世帯に対し、米(60kg)を支給する。	予算 32万円



町内の事業者から聞きました **コロナウイルスの影響と対応**

町内の商店・事業者への影響やこれまでの対応についてお聞きしてきました。

道の駅 物産館

5月の連休は人出も少なく売上は大きく落ち込みましたが、9月の4連休で9割程度回復しました。コロナウイルス感染防止のためレストランでは、特に配慮した対応をとって営業しています。



しろうとぎ荘

宿泊・宴会の売上げが大きく減少しているなかで、町の支援策は大いに助かりました。しかし一ヶ月間の機械設備の停止が要因と思われるトラブルが相次ぎ、修繕費が増加しています。10月以降も宿泊予約が前年比の半分と先の見通しは厳しいです。



セルカ

スーパーの売上げは少し伸びましたが、食材納入が大きく減少し、まだ元には戻っていません。感染防止対策をきちんと、お客様をお迎えできるように心がけています。



梅津スタンド

マスク・消毒等十分注意してお客様に対応しています。移動の自粛と暖冬の影響によって年間売り上げは大幅な減少となっています。今後の経済対策に期待しています。



来々軒

休まずに続けてきたのですが、コロナの影響で宴会がほとんどなく、今も厳しい状況が続いています。このような中、様々な支援をいただき感謝しています。



井上園芸

花壇苗は、4・5月の首都圏量販店向け出荷が激少し、ゆり園閉園による影響もありました。コロナ発生直前でしたが、野菜栽培へ一部転換していたため、6月以降も従業員の雇用を守ることができました。



農家民宿(なかむら)

春は関東方面からのお客様がほとんどなく、大変厳しい状況がありました。設備改修はじめ、様々なご支援をいただき、元気にお客様をお迎えできるように頑張っています。



白萩屋

4月が一番厳しい状況でした。仔牛を購入した時の値段より少し上乗せした程度の売値まで下がりましたが、再び8月、9月は厳しい状況になっています。



総務文教常任委員会

少ない人口でも可能な財政運営に

各課からの報告

● 税務会計課

◇ 固定資産税の課税誤りは、9月中に手続きをしました。

◇ 国民健康保険税の還付は、10月に行う予定です。

● 総務課

◇ 飯豊町総合防災訓練は、11月8日に町民総合センターで町職員のみで行います。

● 企画課

◇ 国勢調査の実施は、コロナ感染症対策を行いなから10月1日から10月20日までで実施します。

● 住民課

◇ マイナンバーカード交付件数は、8月31日までで1516件となり22%です。

● 教育総務課

◇ 学校給食調理場は、9月7日より学校給食を開始しました。

休食中は、仕出し弁当対応でしたが食中毒の発生などの問題はありませんでした。

● 社会教育課

◇ 飯豊町成人式は、11月22日午前10時 町民総合センター「あゝす」で行います。



質問と答弁

遠藤(忠)委員

マイナンバーカードの普及対策は。

住民課長

広報の4月、7月、9月の各号で呼びかけています。

屋嶋委員

ハザードマップの進捗状況は。

総務課長

製作会社ゼンリンと契約を結び、見易く正確な情報掲載を第一に進め、10月号広報でお知らせします。

舟山委員

小白川地区を自転車通学する中学生にLED発光ベスト着用は。

教育長

利便性と経済性を考えると、別の反射式の製品で対応を考えています。

ます。

川崎委員

後藤委員

コロナ禍の中、指定避難所の人数制限があり避難所の増設が必要では。

総務課長

地域防災計画の人数は、確保できません。知人・友人宅等の避難や、垂直避難を考慮すべきであり周知します。

菅野委員

コロナ禍の影響で税収が減少すると考えられるが、町の経済状況の分析は。

町長

少ない人口と予算で、財政運営が可能なように、そのために他町村にない先行投資を行うことで、その効果が出ると確信しています。

ハザードマップ作成は、幅広く関係各位の意見を聴いているか。
総務課長
ゼンリンと調整をしながら製作している。ワークシヨップを行いながらいろいろな意見の中進めていきます。



中学生が通う通路 (大巻橋)

住民の生活を守れ

産業厚生常任委員会

中津川橋通行止め早期復旧を

各課からの報告

●農林振興課・農業委員会

◇本年度の水稲作柄概況「やや良」の見込みです。

行うとのことでした。

◇山形県の専門職大学（新庄市）は令和5年4月開学に向けて、置賜地域あげて連携プロジェクトを発足します。

◇町単独の住宅リフォーム支援事業はこれまでの補助では該当しなかつた工事も対象にしたいと考えています。

●商工観光課

◇7月豪雨の道路災害復旧費用は6千500万円を見込んでいます。

◇9月より地域おこし協力隊として、アウトドア開発宣伝によるまちおこしに加藤絵美さんが着任しました。

●健康福祉課

◇中津川橋の通行止めに伴い、高齢者緊急通報装置貸付事業に変更が生じています。

◇中津川橋の通行止めによって宿泊施設や商店等に対しクーポン券の発行について検討しています。

●地域整備課

◇8月の椿診療所の患者数が484人、一日平均25・5人となっております。さゆりクリニックからの患者が移っているとされます。

●介護老人保健施設・国保診療所

◇8月の椿診療所の患者数が484人、一日平均25・5人となっております。さゆりクリニックからの患者が移っているとされます。

◇中津川橋の通行止めについて、県では国土交通省の専門家に調査を依頼しており、工事の説明会を10月初旬に

◇8月の椿診療所の患者数が484人、一日平均25・5人となっております。さゆりクリニックからの患者が移っているとされます。

質問と答弁

川崎委員 高校再編で

存続が心配される置賜農高。今後の対応は。

町長 今後県の学校再編の動向をしっかりと調査を行い、置賜農高

存続のため、川西町と連携して取り組むようにします。

高橋(勝)委員 赤門大

学の認可申請取り下げとなつた指摘内容は。

商工観光課長 赤門学

院に対する指摘なので、詳細は説明できませんが本年10月の再申請にむけて取り組んでいるところでは。

遠藤(忠)委員 中津川

橋の通止め解除の見通しは。

町長 県はじめ各関係

機関(者)に対し、早期開通に向けた対応を要望していきます。

遠藤(芳)昭委員 中津

川地区民の生活を守る対応と、きめ細かい支援を。

健康福祉課長 民生見

童委員等の協力をお願いし、高齢者等の見守



中津川橋の早期復旧を
地元住民の不安は大きい

り支援については万全を尽くしてまいります。

菅野委員 専門職大学

に対する住民訴訟をどのように受け止めるか。

町長 議会承認を得て

実施したもので、訴訟には誠実に対応していきます。

後藤委員 眺山開発で

道路整備計画は。

専門職大学補助金繰

越明許費2億1千万円の執行方法は。

地域整備課長 町道飯

豊川西線については、地元からの要望もあり道路計画に添って整備していく予定です。

商工観光課長 専門職

大学の建物完成後に、補助金を交付する予定です。

飯豊町議会との 「意見交換会」を受付しています。

担当 飯豊町議会広報公聴常任委員会

飯豊町議会では、今年も皆様の声を大切に、いろいろなグループや各団体と、町づくりの課題や地域の問題などについて話し合い、町民の皆様のご意見をお聞かせいただき、課題や問題などの解決に結び付けると共に、議会活動に反映させ、政策提言や町・県への要望などを行うことを目的として、「意見交換会」を計画しています。

コロナ感染対策を行いながらの開催となりますが、希望される団体、グループの方は議会事務局までお申し込みください。

対象団体 町内在住の団体、グループ参加数は10名以内。

交換会の内容 あらかじめテーマを提出いただきます。

その他 開催日、時間、場所、テーマ等は代表の方と協議させていただきます。原則として全議員が出席しますが、少数の参加者の場合は、広報公聴常任委員会の対応になります。

問い合わせ 飯豊町事務局
TEL 0238-87-0527 FAX 0238-72-2430

お詫びと訂正

前回の「議会だより」178号に、2ヶ所のページに誤りがありました。訂正させていただき深くお詫び申し上げます。

●5ページ

平成30年度(術)エルベ決算報告
販売費及び一般管理費

営業外収益	正	2498万円
営業外費用	正	9万円

●15ページ

農業委員会委員の氏名、正しくは二瓶幸浩氏です。

定例会を 傍聴してみませんか

次回の定例会開催は
12月です。

インターネットでも
見ることが出来ます。



編集後記

梅雨の長雨が続いた7月。猛暑日の8月、一変して秋風が感じられ、稲刈りが始まった9月。異常気象が感じられ世界中に広まったコロナウイルスの収束も見えません。

より一層努力し、読んでもらえる広報誌にと思っています。

高橋(亨) 記



発行責任者
議長 菅野富士雄

発行
広報公聴常任委員会

委員長 高橋 亨一
副委員長 舟山 政男
委員 古山 繁巳
遠藤 芳昭
屋嶋 雅一
高橋 勝